

札幌市北区麻生連合町内会における 「救急・災害時にそなえた高齢者支援事業」

1 目的

札幌市北区麻生連合町内会において、高齢者の方が病気、怪我等により倒れた時に、かけつけた救急隊員らがかかりつけの病院、病歴、緊急連絡先等の情報をすばやく把握し、生命、身体の危険を早期に解消できること。また、大地震等の自然災害などにおいても同様に情報伝達をすばやくし、急速を要する事態において、必要な情報を関係機関に伝達し、高齢者の皆さんが真に安心して安全に生活できる町内会の実現を目指すものです。

2 名称

麻生まちづくり活動ビジョン『安らぎのあるまちづくり』～安心・安全で、だれもが住みやすいまち～“救急・災害に備えた高齢者支援事業”とします。

3 事業内容

麻生地域居住対象者は、かかりつけの病院・かかっている病気・常用している薬・アレルギーの有無・健康保険番号・緊急連絡先などの医療情報を書いたものをプラスチック製の円筒容器（救命医療情報ポスト）に入れ、各家庭の冷蔵庫など破損しにくいものに保管。かけつけた救急隊員らがすばやく保管庫から取り出し、迅速、適切な処方を行っていただくものです。

4 配布物

配布物は、救命医療情報ポスト 救命医療情報用紙 玄関に貼るステッカー 冷蔵庫等に貼るステッカーです。

玄関に貼るステッカーは、救急隊に「救命医療情報ポスト」が保管されていることを知らせるステッカーで、「玄関の中の分かりやすい場所」に貼っていただきます。戸外への貼り出しは、空き巣ねらいなどの犯罪を誘発する可能性がありますので玄関内とします。

対象者は1,500世帯ですが、ステッカーは対費用効率の関係及び将来的な必要枚数から勘案し、2,000枚を作成。容器については3年計画で対象全世帯に行き渡る計画です。

5 事業経費及び財源

(1) 所要経費見込み額 23万円程度

- ・容器本体 1,500個 15万円(3年計画で実施)
- ・シール類 2,000枚 8万円

(2) 財源

・容器本体

容器本体15万円については、地区福まちセンター機能強化費(地区社会福祉協議会会計)を活用し、年間5万円(500本)で3年間で必要数を調達します。

・シール類

2,000枚8万円ですが、札幌市北区麻生まちづくり協議会予算で手当します。

6 配布対象者

麻生地区の高齢世帯及び高齢夫婦世帯に対し1セット配布。年齢要件は、65歳以上の一人暮らしの方及び高齢者夫婦世帯で、ご夫婦ともに65歳以上の方。配布についてはご希望される方のみです。

7 配布方法

麻生地区福祉関連団体、委員のご協力をいただき対象者の把握を行い、1年間に500個を配布。緊急度合い、配布エリア等総合勘案し配布します。

8 事業効果

- (1) 病気やゲガで救急搬送される際、自身の医療情報を救急隊員に伝えられない状態の時や、家族などの関係者が、その方のかかりつけ病院などの医療情報を詳しく知らない場合に活用し、円滑な病院搬送に役立ちます。
- (2) 搬送先の病院でも、病歴などの個人情報がすばやく確認でき、迅速、適切な処方ができます。
- (3) 大地震等の自然災害の場合、冷蔵庫等に個人情報を入れておくことにより「誰がここに住んでいたか」を特定することができ、安否確認の元となる情報や救助活動に役立ちます。
- (4) この事業を通じて、麻生地区が安全・安心なまちとして居住者の定住化確立を図りたいと考えます。